



## 放牧準備・粗飼料管理について

し好性・栄養価の高い放牧草の短草利用は、生産性向上に有効ですが、放牧スタートが遅れ草丈が伸びると利用効率は低下してしまいます。

購入飼料が高騰している現在、粗飼料資源が豊富にある宗谷の地の利を活かして、ロスを上手に抑え、収益性を高めましょう。

### □ 放牧準備について

- 草丈5～10 cm程度で放牧を開始。
- 集約放牧の場合、大牧区で開始し全面を採食させた後、小牧区へ移行。
- 屋外環境や放牧草に慣れさせるため、馴致を実施。  
⇒経産牛で約2週間、育成牛は3～4週間程度。  
1時間程度の短時間から始め、粗飼料併給しながら放牧時間を徐々に延ばす。

### □ 粗飼料管理について

- 取り出し面は均等・きれいに取り出し、作業後は取り出し面をシートで覆う。
- 取り出し量が少なく外気温が高めの時は、二次発酵予防のためプロピオン酸の利用も検討。  
⇒普及センターHP掲載の資料、  
「低水分サイレージのサイロ管理と給与の留意点」もご参照ください。

農作業事故防止 ～機械の点検・整備は、必ずエンジンを止めてから～

#### ■お問い合わせ

宗谷農業改良普及センター宗谷北部支所 TEL 0162-82-2119



HPは「宗谷農業改良普及センター」で検索、またはQRコードから